

競技注意事項

- 1 この競技会に適用する規則は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。
- 2 本大会は県高校ユース大会の西播地区予選会である。
 - (1) 県高校ユース大会への出場者は下記の手順で選考する。
 - ① 各種目上位男子7名、女子6名（三段跳とハンマー投は下記条件あり）、競歩競技は男子32分未満、女子37分未満の2名が県大会出場資格を得る。参加申込は、規定に従い各校で行う。
 - ② トラック競技は1次予選をタイムレース・平均シードで実施し下記の方法で選考する。
 - ☆800m以下の競技は参加者が25名以上の場合、2次予選（2組12名）を行う。
 - 今年度、男子は1年生・2年生ともに100m・200m・800mについて、女子は1年100mのみ2次予選を行い、県大会出場者を選考する。
 - ア 2次予選は、男子2組3着+1、女子2組2着+2で行う。ただし男子4着、女子3着以下で同成績（1/1000秒未満の着差）が生じた場合、代表決定レースを行う。
 - イ 2次予選進出者は規定の12名とするが、12番目の選手が同記録（1/100秒）で複数ある場合は、その人数を加えて番組を編成する。ただし、空きレーンに余裕がない場合は着差（1/1000秒）を考慮して2次レース進出者を決定する。それでもなお、優劣が決められない場合は本人または代理人による抽選で決定する。
 - ③ フィールド競技は次の選考方法とする。
 - ア 跳躍競技（走高跳・棒高跳を除く）、投てき競技は3回の試技後、上位8名を選び、残り3回の試技を行い選考する。男子7位、女子6位が同成績の場合、さらに追加試技を実施し県大会出場資格者を決定する。なお、追加試技の記録は公認記録としては認めない。
 - イ 走高跳・棒高跳において男子7位、女子6位が同成績の場合、出場資格決定試技を実施する。なお、追加試技の記録は公認記録としては認めない。
 - ④ すべての種目において、DNS・DNF・DQ・NMの選手は選考対象にはならない。（特別枠行使者を除く）
 - (2) リレー種目は1、2年生合同で編成することができる。県大会への出場は自由参加とする。
 - (3) 三段跳は標準記録を設ける。男子は1年生・2年生ともに、出場枠に入った選手のうち11m50以上の者とする。女子は1年生・2年生ともに、出場枠に入った選手のうち9m50以上の者とする。
 - (4) ハンマー投は標準記録を設ける。男子は1年生23m00、2年生30m00とする。女子は1年生20m00、2年生23m00とする。
 - (5) 今年度全国高校総体出場者のオープン競技は、トラック競技ではユース予選会1次予選との同時スタートで実施する。フィールド競技はユース予選会との同時開催で実施し走高跳・棒高跳を除く競技の試技数は3回とする。

3 招集について

- (1) 選手招集所は、第2ゲート外側に設け、下表の招集時刻にしたがい点呼をおこなう。

招集時刻	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	30分前	40分前
完了時刻	20分前	30分前

(2) 場所及び手順

[トラック競技]

上記(1)記載の招集開始時刻に第2ゲート付近競技場外側の集合場所において、競技者係の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード〔右腰につける〕・使用シューズなどの確認）を受け、その後、一斉に入場して出発係による点呼を受ける。

[フィールド競技]

上記(1)記載の招集開始時刻に第2ゲート付近競技場外側の集合場所において、競技者係の点呼（アスリートビブスと使用シューズなどの確認）を受け、その後、一斉に入場してフィールド競技審判員による点呼を受ける。

- (3) 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（競技服装、アスリートビブス・腰ナンバーカード・使用シューズなどの確認）を受けておくこと。その場合に限り招集時刻の点呼に代理を認める。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者（チーム）は、出場する意志がないものとみなし処理する。
- (5) 当該種目を欠場する競技者（チーム）は、あらかじめ欠場届（プログラムの末尾に綴込み）を競技者係に提出すること。

競技注意事項

- (6) 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。1500m、3000m、5000m、5000mW、3000mSCは、招集時に競技者係から配付される。フィニッシュ後、別ナンバー係補助員に返却すること。
- (7) 競技規則に適合しているシューズであることを確認するため、招集時、レース前・終了後に靴底を計測することがある。
- 4 審判長の権限により、選手の命に危険があると判断できる場合、競技の進行に著しく影響があると判断できる場合にはレースを中止することがある。また、先頭に一周抜かれた場合はレースを中止させることがある。
- 5 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。
- 6 1・2年生女子3000mと1・2年生男子・女子5000m競歩はそれぞれ同時スタートとする。スタートは1列とし女子3000mは2年生がイン・1年生がアウト、5000m競歩は男子がイン・女子がアウトで、プログラム記載順に整列する。
- 7 リレーのオーダー用紙は、各種目1組の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに記録室へ提出すること。(オーダー用紙は、学校受付時に配付する)
- 8 やりは、検査を受けて自己のものを使用することができる。
検査場所 玄関ロビー
検査時間 男子 第一日目 11:00 女子 第二日目 8:30
- 9 ウォーミングアップについて
- (1) ウォーミングアップは手柄山中央公園を使用すること。ただし、占有使用ではないので一般利用者とのトラブルがないよう注意すること。全天候走路では順方向で使用し、トラックの周回及びハードル・ミニハードル・ゴムチューブ等の利用、占有して使用することを禁止する。なお、投てき練習は危険防止のため一切禁止する。(競技前に練習時間を設ける)
- (2) 競技場内でのウォーミングアップは競技開始の15分前の8:30までとする。
- (3) 棒高跳の競技が終了しマット等の撤収が完了すれば、競技場内第2コーナーから第3コーナーの8レーン外側のエリアは、競技に支障のない範囲でウォーミングアップ場として使用してもよい。審判員の指示にしたがい安全に留意して使用すること。その使用の許可はアナウンスにより連絡をする。投てき練習は禁止する。
- 10 競技場が全天候舗装のため9mm以下の全天候型のピンを使用すること。ただし、やり投と走高跳は12mm以下とする。
- 11 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。また、バーを破損した場合は弁償すること。
- | | | | | | | | | |
|----|-----|-------|----------|------|------|------|-----------|------|
| 男子 | 走高跳 | | 1m30(練習) | 1m75 | までは、 | 5cm | きざみとする。以降 | 3cm |
| | 棒高跳 | | 2m00(練習) | 3m00 | までは、 | 20cm | きざみとする。以降 | 10cm |
| 女子 | 走高跳 | | 1m20(練習) | 1m45 | までは、 | 5cm | きざみとする。以降 | 3cm |
| | 棒高跳 | | 1m60(練習) | 2m00 | までは、 | 20cm | きざみとする。以降 | 10cm |
- 代表決定の為のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- 12 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。
- 13 リザルトの発表は掲示せず、アナウンスによる一部発表とともに指定のWEBページに掲載する。
(<http://seibanrikujou.g1.xrea.com/>)

